

2013年

10月14日 祝

午後3時開演 (2時半開場)

マリアの宣教者フランシスコ修道会
「聖母病院」聖堂

西ゴート王シカレドの時、イスパニアは出発した。
7人の司教から歌と沈黙の花咲く果樹園が広がり、

小羊の皮に音符が書き込まれ、

神の言葉は福音のリズムで荒地を沃野に潤した。

蜂の巣のようなネウマを蜜のように味わい、

炎の海で渴望する。

ヤコフの墓が発見され、

アルフォンソがイスラムと手を取り合ったのち、

バスクから不屈のサビエルが目覚め、

海を渡るころ、

カステイリアの荒野でアビラのデシサが

7つの靈魂の城を視察した。

シロスの山あいには鐘が鳴り渡るのを聴くとき、

そのときこそ心を開いて愛に一致して、

イスパニアは歓喜する。

ラウデージによる
スペイン音楽の800年

味わい、見よ、主の恵み深さを

Gustate et videte quam suavis est Dominus

出演者：Laudesi Tokyo

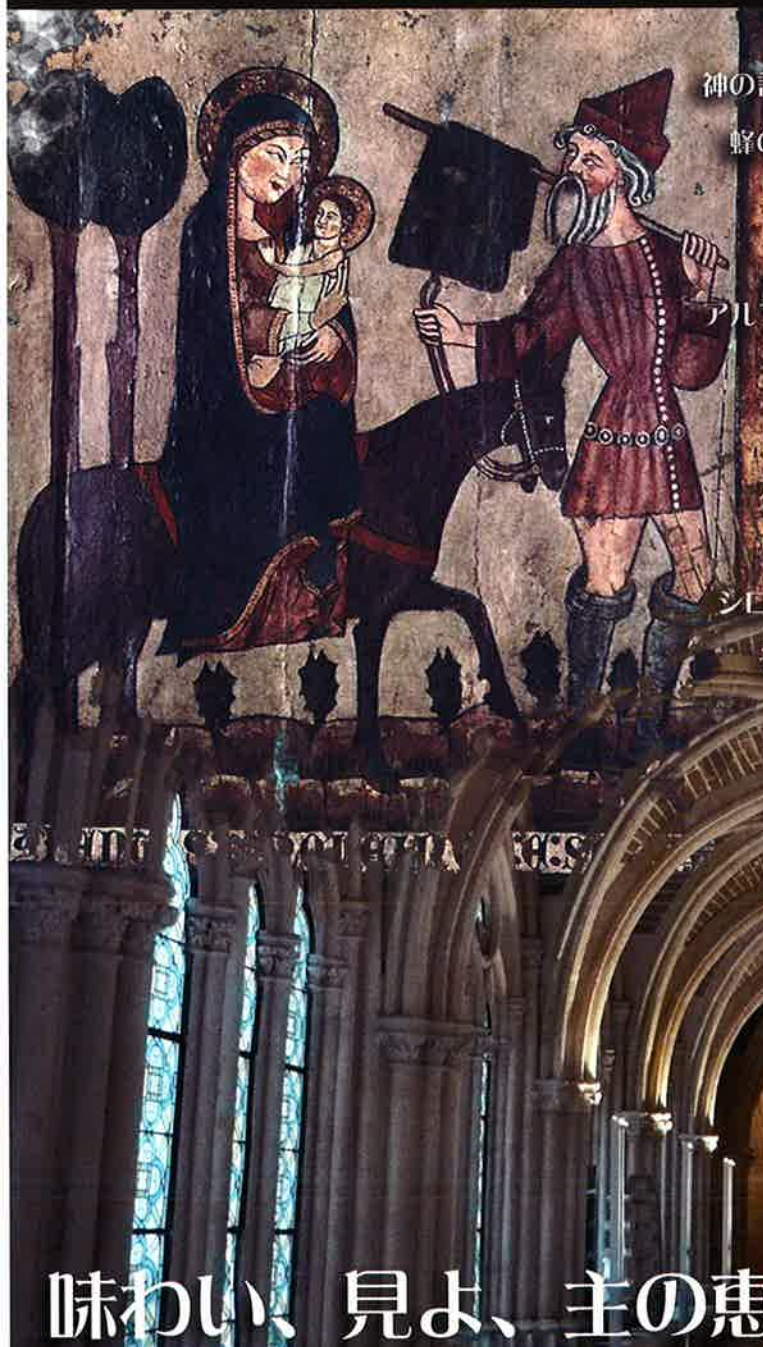
監修/指揮：杉本ゆり

入場料：3000円 (当日3500円)

予約・問い合わせ先：E-mail / yuri-francesca@nifty.com 電話・ファックス / 0422-32-6074 (杉本ゆり)



後援：スペイン国営セルバンテス文化センター



演奏曲目

モザラベ典礼聖歌

復興モザラベ聖歌

ヤコフ典礼

モンセラート写本

サンタ・マリア・テ・カンティガス

ゲレーロ

ビクトリア、他

毎年なされるヤコフの祝祭が、

ヤコフよ、

御身に対して与えられなければならない。

甘美で調和のとれた様々の楽器が

鳴らされなければならない。

これほどまでに

神聖で、善き、有効な教義が

模倣されなければならない。

この聖なる幸福、繁栄、輝きが

愛されなければならない

(Codex Calixtinusより)

Gustate et videte quam suavis est Dominus
 味わい、見よ、主の恵み深さを

監修・指揮：杉本ゆり

出演者：Laudesi Tokyo

賛助出演：子供合唱団 ピッコリーニ(名倉亜矢子指導)

器楽：坪田一子(フィーデル)

須藤みぎわ・深見奈央(リコーダー)

佐藤亜紀子(リュート)

名倉亜矢子(ゴシック・ハープ)

高橋英樹(打楽器)

歌：市川克美、市川摩里子、遠田さゆり、鎗木綾、上出朝子、久保田和彦、熊谷淳子、

佐藤喜義、名倉亜矢子、松田喜久子、村松勝久、山中真佐子、渡辺和之

マリアの宣教者フランシスコ修道会
 「聖母病院」聖堂

〒161-8521
 東京都新宿区中落合2-5-1

電車

- 西武新宿線下落合から徒歩7分
- 西部池袋線椎名町から徒歩10分
- JR目白駅から徒歩12分

バス

- JR目白駅より都バス池65・白61練馬方面行き、聖母病院入口下車
- 新宿駅より関東バス丸山営業所行聖母病院前下車

